

# 平成27年度事業報告書

## I 法人の概要

### 1 設置する学校

東京聖栄大学  
健康栄養学部 管理栄養学科  
食品学科

東京聖栄大学附属調理師専門学校 (平成25年4月校名を東京聖栄大学附属調理師専門学校と改称)  
調理師専門課程 調理師科

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

### 2 入学定員、学生数の状況

平成27年5月1日現在

東京聖栄大学

		入学定員	収容定員	現 員
健康栄養学部	管理栄養学科	80	320	341
	食 品 学 科	80	320	340
	計	160	640	681

東京聖栄大学附属調理師専門学校

		入学定員	収容定員	現 員
調理師専門課程	調理師科	80	80	51
	計	80	80	51

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

		認可定員	現 員
計		300	285

### 3 役員、教職員の概要

平成27年5月1日現在

役員数

理事	9	監事	2
----	---	----	---

教職員数

区分	法人本部	大学	専門学校	幼稚園	計
専任教員数		38	3	13	54
専任職員数	7	24	4	4	39

#### 4 法人の沿革

本法人は東京都葛飾区の現在地に昭和22年洋裁学院を創立、同29年栄養士養成施設聖徳高等栄養学校設立の後、聖徳栄養専門学校に校名変更し、同校は昭和38年聖徳栄養短期大学に昇格しました。また、聖徳栄養専門学校調理師科から独立した調理師学校は昭和52年専修学校 聖徳調理師専門学校として認可、同年千葉県鎌ヶ谷市に幼稚園を開設しました。平成17年短期大学を四年制大学へ改組、名称を東京聖栄大学として開学し今日に至っています。平成19年創立60周年を機に法人名を学校法人東京聖栄大学と改称しました。

昭和22年	4月	オリンピック洋裁学院開校
昭和23年	10月	財団法人オリンピック学園設立認可(文部大臣)
昭和26年	3月	学校法人オリンピック学園に組織変更認可(東京都知事)
昭和29年	3月	聖徳高等栄養学校設立認可(東京都知事)
昭和29年	4月	聖徳高等栄養学校を栄養士養成施設として指定(厚生大臣)
昭和32年	8月	オリンピック洋裁学院を「聖徳服飾専門学校」 聖徳高等栄養学校を「聖徳栄養専門学校」に改称
昭和35年	2月	聖徳栄養専門学校に調理師科を設置。調理師養成施設として指定(厚生大臣)
昭和38年	1月	聖徳栄養短期大学の設置認可(文部大臣)
昭和38年	3月	聖徳栄養短期大学食物科第1部(後に食物栄養科さらに食物栄養学科第1部と改称)を栄養士養成施設として指定(厚生大臣)
昭和39年	3月	聖徳栄養専門学校の短期大学昇格に伴い同校栄養本科を廃止、 4月1日より校名を「聖徳調理師学校」と変更
昭和41年	4月	聖徳服装専門学校を「聖徳服装学院」と改称
昭和52年	2月	聖徳服装学院及び聖徳調理師学校を専修学校として認可(東京都知事) 聖徳服装専門学校、聖徳調理師専門学校と改称
昭和52年	3月	聖徳栄養短期大学附属わたなべ幼稚園設置認可
昭和60年	12月	短期大学食物栄養学科第1部専攻課程設置認可 (食物栄養専攻、食品科学専攻) (文部大臣)
平成元年	4月	短期大学食物栄養学科第1部を同第2部廃止に伴い「食物栄養学科」と改称
平成4年	1月	服装専門学校廃止認可。(東京都葛飾区長・文部大臣)
平成6年	12月	調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科(修業年限2年)設置 (東京都葛飾区長)
平成7年	12月	短期大学専攻科食物栄養専攻設置(文部大臣)
平成8年	1月	短期大学専攻科食物栄養専攻学位授与機構長認定
平成8年	12月	調理師専門学校調理師専門課程専門技術修了者に専門士の称号授与の 課程認定(文部大臣)
平成14年	11月	短期大学食物栄養学科食品科学専攻製菓・製パンコースを製菓衛生師養成 施設として指定(厚生労働大臣)
平成15年	5月	公開講座を葛飾区教育委員会と共催実施を締結
平成16年	11月	東京聖栄大学設置認可(文部科学大臣)。開設時期平成17年4月1日
平成17年	2月	健康栄養学部食品学科食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設登録 (厚生労働大臣)
平成17年	3月	健康栄養学部管理栄養学科の栄養士養成施設内容変更承認(厚生労働大臣)
平成17年	3月	健康栄養学部管理栄養学科の管理栄養士養成施設の指定(厚生労働大臣)
平成18年	5月	放送大学と単位互換協定締結
平成18年	9月	聖徳栄養短期大学廃止認可
平成19年	6月	法人名を学校法人東京聖栄大学に変更
平成21年	4月	東京聖栄大学健康栄養学部食品学科にフードサイエンスコース、フードビジネスコースを設置
平成21年	4月	聖徳調理師専門学校調理師専門課程調理師科入学定員120名を80名に変更
平成24年	4月	聖徳調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科廃止
平成25年	4月	聖徳調理師専門学校の校名を東京聖栄大学附属調理師専門学校と改称
平成25年	9月	葛飾区と連携・協力に関する協定締結(包括連携協定)
平成26年	2月	健康栄養学部管理栄養学科の教職課程(栄養教諭一種免許状)課程認定 (文部科学大臣)

5 平成27年度入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、卒業生数

東京聖栄大学 健康栄養学部

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	卒業生数
管理栄養学科	80	443	413	243	89	81
食品学科	80	138	132	125	74	80
計	160	581	545	368	163	161

東京聖栄大学附属調理師専門学校

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	卒業生数
調理師科 (1年課程)	80	53	53	52	51	42
計	80	53	53	52	51	42

東京聖栄大学 附属わたなべ幼稚園

	年少	年中	年長	計	卒園児数
定員	90	105	105	300	108
新入園児数	78	9	2	89	
園児数計	84	94	107	285	

参考

〈平成28年度入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数〉

東京聖栄大学 健康栄養学部

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
管理栄養学科	80	462	447	279	109
食品学科	80	137	135	132	84
計	160	599	582	411	193

東京聖栄大学附属調理師専門学校

学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
調理師科 (1年課程)	80	34	34	32	32
計	80	34	34	32	32

東京聖栄大学 附属わたなべ幼稚園

	年少	年中	年長	計
募集人(定)員	90	105	105	300
新入園児数	67	10	1	78
園児数計	81	93	94	268

参考

平成28年5月1日現在

入学定員、学生数の状況

東京聖栄大学 健康栄養学部		入学定員	収容定員	現 員
管理栄養学科		80	320	364
食 品 学科		80	320	324
計		160	640	688

東京聖栄大学附属調理師専門学校		入学定員	収容定員	現 員
調理師科		80	80	35
計		80	80	35

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園		認可定員	現 員
		300	268

## Ⅱ 平成 27 年度事業概要

平成 27 年度は、関係者及び全学生の参加のもと 6 月 6 日に大学開学 10 周年記念式典を挙行し、前月に発表された管理栄養士国家試験 100%合格と併せ、本学の基礎が固まってきた感のある年度となりました。

また、秋の叙勲においては、福澤美喜男理事長が旭日中綬章を受章され、学園に大きな榮譽がもたらされました。

このような慶事の続く中、平成 27 年度は『第Ⅱ期中長期計画』の初年度として、大学・専門学校・幼稚園・法人運営の各分野に亘り、夫々の教職員が、より良い教育と適切な事業運営を希求して努力を続けたところであり、これらの事業概要とその結果について、下記のとおりご報告いたします。

### <大学（教育研究等）>

#### 1 自己点検活動

PDCA 活動に基づく自主的・自律的な自己点検活動を平成 27 年度も実施し、教育の質保証に努めています。平成 24 年度から毎年度継続実施している「自己点検評価検討委員会規程第 5 条別表」（各組織体の自己点検報告）の作成を平成 27 年度も実施し、学内公表しました。毎年度実施している本取組は、本学の課題を共有化するとともに、全学的な改善に向けた体制として確立されています。

#### 2 FD 活動

平成 27 年度は、教科打ち合わせ会、教員による授業公開（前後期）、授業評価アンケート（前後期）、FD 研修会を実施し、教育内容の改善に努めました。授業公開は、全専任教員に公開と参観を義務付けることにより、全学的な取組みが展開されています。授業評価アンケートは、単位実質化の観点から、授業時間外学修状況も含めた調査を行いました。研修会は、SD との合同研修に加え単独でも FD 研修会を実施し、アクティブ・ラーニングや学生の学びについての講演、授業改善の討議を行いました。

さらに、平成 27 年度の活動内容を「FD 活動報告書」として取り纏めました。

#### 3 SD（スタッフ・ディベロップメント）

職員が、大学運営に必要な知識や技能を身につけ、職員としての資質を向上させる機会を与えるため、平成 27 年度は、本学が加盟する日本私立大学協会や私学経営研究会等が実施する各種研修会へ職員を積極的に派遣したほか、新規入職者を対象として新人研修会を学内で行うなど、SD の推進に努めました。

なお、新人研修会については、事務系職員、附属幼稚園採用教員等、合同で行い、交流や意見交換、相互理解を深める機会となることも併せて狙いとして実施しました。

#### 4 教育課程

平成 27 年度は、①G P A制度の検討と導入（平成 28 年度入学生から適用）、②共通教育センター（聖栄ラーニングサポートセンター：通称Lサポ）の開設、③シラバス記載内容の第三者チェック、④習熟度別クラス編成科目の拡大、⑤教職課程の内容充実（葛飾区教育委員会との連携）等により、本学らしい学修支援のあり方を追及し、学士課程教育としての水準向上に取り組みました。

#### 5 学校教育法改正への対応

教授会の役割の明確化、学長のリーダーシップ・ガバナンスを主旨とする学校教育法及び同法施行規則の改正が行われ、平成 27 年度開始に間に合うよう、各大学における対応を求める文部科学省通知が発出されたことを踏まえ、法改正の主旨に沿い、内部諸規程の改正を平成 27 年 3 月までに完了し、平成 27 年 4 月からは、学長を議長とする「大学運営会議」を中心とした大学運営体制を実施しました。

#### 6 就職支援

就職支援については、学生支援センター・教職員・就職支援アドバイザー（2名）の連携のもと、通年に亘り、求人情報の提供、個人別就職指導、各年次に即した就職支援のためのガイダンス・講習会の実施、企業の採用担当者を学内に招いた学科別「業界・企業説明会」の開催を行ないました。

平成 27 年度は、特に、食品学科学生に対する就職支援強化対策として、就職支援アドバイザーによる 3 年次生・4 年次生を中心とした全員面談に注力したほか、新たに、7 号館 1 階への就職相談室（就職支援アドバイザー相談室）の設置、正課としての『キャリアリサーチ』の開講、「食品会社就職のための筆記試験対策講座」（就職支援アドバイザー及び学科教員交代指導）に取り組みました。

また公務員志願者については、効果的なサポートを行なうべく、学科別公務員ガイダンス、専門業者に依頼した公務員教養試験対策講座（経費の一部を大学から補助）、論文対策講座の開講と添削指導、公務員経験者による個人指導等を実施し、結果として一定の成果をあげることができました。

##### 就職状況

就職内定率 学部合計 98.0% （前年 97.4%）

##### 主な内定先

- <公務員・公共> 東京都栄養士、神奈川県栄養士、板橋区栄養士  
川崎市（学校栄養職）、国立病院機構(3)（正規 2・非常勤 1）
- <管理栄養士職> 成仁病院、東条病院、特養あすみの丘、特養水元園  
エームサービス(株) (6)、(株)メフォス(9)、江戸川保育園
- <一般企業> (株)伊藤園、イニシオフーズ(株)(4)、(株)コロンバン

(株)サンデリカ、(株)シャトレーゼ、(株)叙々苑(2)、(株)きちり  
(株)こだわりや(2)、(株)ホテルグランドパレス、日東ベスト(株)(2)

## 7 資格取得の支援

### ― 管理栄養士国家試験

平成 27 年 5 月 8 日に発表された第 29 回管理栄養士国家試験において、本学 7 期生の合格率は 100%であり、開学 10 周年の節目にあたり、受験資格を得た受験者の全員合格を達成しました。

なお、本年 5 月 10 日に発表された第 30 回管理栄養士国家試験については、本学 8 期生の合格率は 95.1%であり、養成施設新卒の全国平均値を上回ることができましたが、今後も、国家資格の確実な取得、国家試験合格に向けて、更なる指導・支援を行ってまいります。

― 食品学科では、食品衛生管理者・食品衛生監視員（任用資格）、フードスペシャリスト資格、フードサイエンティスト資格取得支援のほか、平成 24 年度に登録機関として認定された食品微生物検査技士資格取得の支援を行ない 2 名が合格しました。

― 両学科共通事項として、MOS 試験（Microsoft Office Specialist）を定期的に学内で実施することにより、学生が情報処理資格を取得する支援を行ないました。

（平成 27 年度：計 15 回学内実施、合格者数 計 104 名）

## 8 研究活動の活性化

### ― 研究環境の充実・整備

大学の質の向上が求められている観点から、研究レベルの向上は必要不可欠の要件であり、学内研究費による研究活動については、特に若手研究者（教員）支援に重点を置いて研究費を支給したほか、平成 27 年 7 月 4 日には研究発表会を開催するなどして研究の活性化を図りました。さらに、文部科学省の定める「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」改正を踏まえ、『東京聖栄大学における研究活動の不正行為の防止等に関する規程』を新たに制定し、研究活動の適正確保のため、学内体制の整備を行いました。

### ― 受託研究

平成 27 年度は、復興支援の観点も含めて本学が継続的な支援を続けている福島県塙町からの「塙町産農産物等を使用した加工食品の開発（その 4）」を受託し、本学食品学科を中心としたプロジェクトチームによる研究活動（現地講習会を含む）を実施しました。また葛飾区から、ヘルシーメニューの開発、「えらべる食堂」メニューの栄養計算、栄養相談、調査分析、1 周年記念ヘルシーメニュー試食会等を内容とする『「かつしかの元気食堂」推進事業に関する研究』を受託し、本学管理栄養学科を中心としたプロジェクトチームにより、地域に根ざした食育推進、健康

増進を図る研究活動が行なわれました。

これら受託研究の実施過程においては本学学生が多数参加しており、有意義な教育機会ともなっています。

#### 一 公的研究費

平成 27 年度は、新規案件として、本学卒業生の若手教員を研究代表者とする、『飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の摂取がエネルギー代謝と睡眠構造に与える影響』（平成 27 年度～平成 28 年度）が、科研費・若手研究（B）に新規採択されるとともに、本学教員 1 名を研究分担者とする、『インド経済圏内の食品流通システムの展開方向と日本農産物の輸出可能性の究明』（平成 27 年度～平成 30 年度）が、科研費・基盤研究（B）に採択され、夫々の研究活動が開始されました。

また継続案件として、日本学術振興会の二国間交流事業共同研究「中国との共同研究（CASS）」を得た本学教員を日本側共同研究代表者とする研究活動『高効率青果物流通システムの構築に関する日中両国間比較研究』（平成 26 年度～平成 28 年度）が実施されています。

これら、教員（研究者）による公的研究費の獲得と実施については、適正確保の観点も含め、一定の知識を有する職員による支援・協力が不可欠であることから、平成 27 年度は、総務課・財務課・学務課において、特に課長級職員が関係事務の習熟に努めました。

### 9 大学図書館

平成 27 年度 年間延入館者数 17,209 名 貸出冊数 学生 5,019 冊 教職員 3,896 冊

大学図書館については、専門書・政府刊行物を含む統計資料・教職課程用図書等、蔵書構成の充実やレファレンスサービスの充実に努めた他、平成 27 年度は、①新たに開設された「共通教育センター（Lサポ）」内へ蔵書を別置することによる学生の学修支援、②機関リポジトリの運用開始（大学等研究機関の知的生産物を保存・公開するシステム）、③葛飾区立中央図書館との連携事業については、学生による食育読み聞かせ、「いきいき講演会」への講師派遣、「研究者が選ぶお薦めの本」企画展示事業への協力等を行ない、一層の充実がなされました。

### 10 入試関係

平成 27 年度実施（平成 28 年度入学）の入試については、両学科アドミッションポリシーに沿った選抜を行うべく、指定校制・公募制推薦入試に履修条件を設定するとともに、食品学科学生募集強化の観点に立ち、自己推薦入試は第Ⅱ期を、一般入試各期で高得点 2 科目型入試を導入しました。さらに、3 月特別入試を新設しました。

また、学生募集活動にあたっては、本学の魅力を伝える日常的な広報活動やオープンキャンパス等に教職員が努力し、結果として、6 年連続して学部定員を上回る入学生を



迎えることができました。

## <併設校>

### 一東京聖栄大学附属調理師専門学校

#### ・教育課程

平成 27 年度は、調理師養成施設指導要領の改正を踏まえ、大学附属であることを特色のひとつとした新カリキュラムを実施しました。

大学食品学科からの調理技術研修生は 8 名を受入れし、これら研修生は、体験入学・公開講座の補助をはじめ、わんぱく相撲葛飾区大会の模擬店協力等、調理技術を発揮した地域貢献活動にも携わりました。

なお、希望者には食育インストラクターの受験資格を与え、5 名が合格しました。

#### ・施設・設備

301 教室にプロジェクターの設置（後援会寄贈）

#### ・就職支援

就職活動にあたり 6 月・7 月に就職ガイダンスを実施。夏休み直前には外部講師と卒業生を招いて、個別相談・指導にあたってもらう機会を設けました。

#### 就職状況

内定率 90.3%（前年 85.2%）

主な就職先 日本料理、西洋料理、中華料理 各 18～28%

                  集団給食 14%、製菓他 14%

ホテルグランドパレス、リゾートトラスト、第一ホテル両国、しゃぶ禅、美濃吉、伊豆榮、ざくろホールディングス、サッポロライオン、天津飯店、横浜桂林、ダイエタリーケアー、コスモ企業、ダロワイヨジャポン、イオンペーカリー 等

#### ・学校生活の充実を図り、次年度に生かすため、卒業時に学生との意見交換会を実施。

### 一東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園

#### ・わたなべ幼稚園の特色ある保育の実施に年間を通して努力しました。

#### ・給食・食育活動

HACCP 基準を取り入れた最新の施設・設備を生かし、鎌ヶ谷市内では数少ない自園式給食を提供。安全で美味しい給食に基づく食育と指導を日常的に推進するとともに、平成 27 年 10 月 13 日には、東京聖栄大学の学生・教員との連携により、園児と大学生による「米粉によるピザ作り体験」を行ない、食材への興味関心、理解を深め、食べ物への感謝、作る人への感謝を園児の心に育む食育事業を実施しました。

これらの取り組みについては、鎌ヶ谷市食育推進部会を通して紹介したほか、10 月からは栄養士による「栄養士ブログ」を開始。毎日のコメントの中に、幼稚園での

献立と栄養、子供の反応などを掲載し、保護者からも好評を博しています。

・預かり保育の充実

預かり保育、長時間保育を希望する保護者への積極的対応を行っています。平成 27 年度はアンケート調査を行なう等、内容充実に向けての方向付けを行ないました。

・園児の確保

長期的な少子化傾向に加え、行政（市）による保育園の増設等により、私立幼稚園の園児確保に影響が出ていることから、市内幼稚園協議会として、市長を始めとする行政関係者と話し合う等の要望活動を行ないました。その結果、市役所内関係各課に私立幼稚園の紹介コーナーを設けることが実現しました。

園児の確保については、効果的な園バス運行ルートの設定や、見学者・入園希望者への日常的な勧誘に努めたほか、幼児教室に通う幼児を満 3 歳児保育におけるの入園を働きかけるため丁寧なアプローチを行ない、その結果、平成 27 年度は 14 名の入園者を確保し、定員充足につなげることができました。

・教職員研修による資質向上への取り組みにも努めました。

## <地域貢献、公開講座>

地域貢献、公開講座等の取り組みとして平成 27 年度は次の事業を行いました。

### 1 公開講座

葛飾区教育委員会との共催で、大学 4 講座（日本の食文化講座、キッチンハーブ講座 2 講座、健康栄養講座）、専門学校 1 講座（調理実習講座）を実施しました。できる限り多くの方に受講いただく為に定員を増やしたほか、例年応募倍率が高いキッチンハーブ講座は複数回実施した結果、平均倍率は 1.69 倍（前年 2.41 倍）と、受講希望者のニーズに応えました。

### 2 地域貢献・社会貢献

葛飾区との包括連携協定（平成 26 年 9 月 30 日付締結）に基づき、継続事項として、1 号館南側における「四季折々の花が咲く美化プランターの維持管理」による環境美化活動、「かつしか知っ得メモ」・「かつしかの元気食堂推進事業」への協力による区民の健康増進・食育活動、スポーツフェスティバル等の行事への協力、各種審議会・講演会への教員の派遣等々を行なったほか、平成 27 年度は、新たに、生ごみの減量を目的とした「食べ切り使い切りメニュー」のレシピ提供を行ないました。

また、（一社）全国栄養士養成施設協会の助成を得て聖栄葛飾祭において実施した『身体組成・骨密度・血管年齢の測定「あなたの身体、覗いてみませんか？」』には二日間で来場者 532 名が測定を受け、参加者が自身の健康状態を理解することに寄与しました。

さらに、（公社）日本フードスペシャリスト協会の助成を得た『見直そう東京食材！東京都の食材を使った加工食品・料理メニュー展』を第 8 回東京都食育フェア会場等で

実施し、来場者へ東京の食材とその活用について紹介・PRを行ないました。

このほか、大学が所在する地元である新小岩地域の自治会・商店会からの要請も踏まえて、地域の活性化事業に参加・協力を行なったほか、学生主体での社会貢献活動が様々な展開され、これら本学学生の活動については、日本赤十字社東京都支部からの感謝状が授与される等、公的団体や地域社会、関係方面から高い評価を戴くことができました。

### 3 講師派遣

94 件（特別講座を含む）

#### <管理運営>

管理運営に関する主要事項は以下のとおりです。

- ・管理運営体制整備  
理事会による学園全体の適正運営 常務理事会の月次定例開催  
内部監査と改善
- ・財務基盤の強化  
収入確保並びに支出統制 財務分析  
競争的資金導入 寄付金増収への努力 人件費抑制
- ・教職員人事関係  
教員年齢構成のバランスと活用 将来を見据えた育成（教員・職員）  
SD・FD の推進
- ・防災  
年次計画に基づき保存食・防災資機材を充実 炊き出し機材等の使用訓練  
防火・防災訓練実施

#### <施設設備 教育環境整備>

- ・大学図書館棟
  - ①エレベーターリニューアル  
(制御機器・メインロープ等更新、地震時センサー設置等による安全性向上対策)
  - ②5階栄養教育実習室プロジェクター交換
- ・大学1号館2階調理実習室(122)内モニター入替工事
- ・大学学内LAN整備
  - ①教職員用ノートPC端末12台更改、新任教員用デスクトップPC端末5台導入
  - ②外字サーバ(アプリケーション)導入工事
  - ③NTTフレッツあずけーるPRO導入工事
  - ④FW(ファイアウォール)バージョンアップ工事
  - ⑤オンサイト保守用ルータの更改

- ・消防設備、電気設備の改修工事（法定点検等に基づき各棟）
- ・調理師専門学校 受水槽ポンプ制御盤取替工事、地下汚水ポンプ交換工事
- ・附属わたなべ幼稚園 非常用設備改修工事
- ・大学案内看板新設（調理師専門学校屋上）
- ・船橋グラウンド看板新設工事
- ・旧あおい寮受水槽等交換工事 等

以 上